

# 令和7年度 軽米町若者会議 実施結果

## 1 開催目的

軽米町若者会議は、若者の感性や発想を町づくりに反映させることを目的とした委員会であり、軽米町総合発展計画 2021-2030 の策定にあたり若者の意見を取り込むため、令和2年9月に設置されました。

令和7年度の会議では、「住まい」、「子育て・教育」、「仕事」、「交流・にぎわい」の4つのテーマで若者会議委員のほか、軽米町役場若手職員が参加し、若者ならではの視点で意見交換を行いました。

## 2 実施結果

### (1) 開催結果

#### ○第1回若者会議

日 時 令和7年8月21日（木）18:00～19:30

場 所 かるまい文化交流センター 第1・2会議室

参加者 若者会議委員5名

軽米町役場若手職員17名

#### ○第2回若者会議

日 時 令和7年10月16日（木）18:00～19:30

場 所 かるまい文化交流センター 第1・2会議室

参加者 若者会議委員5名

軽米町役場若手職員15名

### (2) 会議の次第

#### ① 開会

#### ② 概要説明

#### ③ 会議

・あいさつ

・ワークショップ（グループに分かれて意見を出してもらったあと発表）

#### ④ その他

#### ⑤ 閉会

### (3) 意見の概要

#### ◎意見全般

##### ○医療へのアクセス

- ・町内に病院が不足しており、大きな病院へは二戸市や八戸市まで行く必要がある。
- ・県外の病院で医療費助成を利用する際、後日払戻申請が必要となる手続きの煩雑さが指摘されており、県境を越えても助成を直接受けられる制度への改善が強く望まれている。
- ・健康維持そのものへの不安を感じる声もある。

##### ○商業施設の不足

- ・スーパーマーケットや商業施設が少なく、特に子供用品など特定の欲しいものがすぐには手に入らないという不便さが挙げられている。

##### ○交通の利便性と課題

- ・車があれば八戸市や盛岡市へのアクセスは良好であり、混雑した電車を避けて移動できる点は利点とされている。

##### ○観光資源の活用

- ・観光資源を有効活用し、交流人口の増加を目指すべきとの意見がある。
- ・**キャラクター・聖地の活用**：著作権問題をクリアした上で、キャラクター（「ハイキュー!!」等）をより積極的に活用すべき。交流館、物産館、聖地を結ぶ導線作りが提案されている。
- ・**SNSの活用**：観光大使のSNSを積極的に活用する。TikTokを利用した米の直販や、観光大使による軽米ブランド製品のライブコマース（視聴者と交流しながらのライブ販売）など、具体的な手法が挙げられている。

#### ◎住まいについて

##### ○不動産・住宅確保の困難さ

- ・不動産業者が町内にない。
- ・土地探しが大変で、「知り合いがいないと土地を売ってもらえない」といった慣習が存在する。
- ・空き不動産情報が分かりづらい。
- ・家を建てる際の賃金（建設費）が高い。

##### ○住環境のニーズ

- ・現在の住宅供給が「今の私たちのニーズとはずれている」との認識がある。
- ・雪かきをしたくないという切実な思いがあり、除雪の負担が少ない立地（大きい道路へのアクセス）や、ロードヒーター、カーポートが求められている。
- ・町営住宅にエアコンが設置されていない点が指摘されている。
- ・インフラ面では、敷地を占有する浄化槽よりも下水道の整備が望まれている。

### ○空き家の有効活用

- ・リフォーム補助金を活用して空き家の利用を促進したほうがよい。
- ・町が空き家をリフォームして住む場所として提供（販売）したほうがよい。
- ・商店街周辺の空き家を改修し、町営の「若者向けシェアハウス」を整備することで、出会いの場を創出し商店街の活性化を図ったほうがよい。

### ○情報提供と移住促進

- ・空き不動産情報を整理・公開し、短期のお試し移住に活用して定住につなげたほうがよい。
- ・ICに近い点や充実した子育て環境をアピールし、子育て世代に軽米町での住宅建築を選択してもらうべき。

### ○住環境の魅力

- ・関東など都市部からの移住者にとっては、軽米町の静かな環境が魅力と感じられている。
- ・「都会の喧騒が嫌いな人に好かれる環境」というポジティブな評価がある。

### ○具体的な住宅設備・立地

- ・将来を考え、平屋が楽だという意見がある。
- ・一人暮らし用のアパートや、子供ができた際の戸建て住宅が必要。
- ・駅やバス停、遅くまで営業しているコンビニ・スーパーへの近さが安心につながる。
- ・エネルギー源として、電気7割・灯油3割という内訳が示されている。

### ○生活支援サービス

- ・見守り機能や薬の運搬を含む移動販売を拡充し、有効活用を図るべき。

## ◎子育て・教育について

### ○支援制度

- ・軽米町には子育て助成はあるが、結婚支援がない（九戸村では結婚時に4万円が支給される例が挙げられている）。

### ○情報と施設

- ・子供の習い事に関する情報（一覧など）が必要とされている。
- ・公園に遊具が欲しいという要望がある。

### ○教育の魅力化

- ・軽米高校の魅力向上のため、地域おこしに資する全国的にもユニークな科の設置が提案されている。

### ○軽米ならではの体験教育

- ・人口が少ないことを逆手に取り、「軽米でしかできないこと」を提供すべき。
- ・非農家の子どもたちを対象に、雑穀を1年間作るなどの農業体験を提供し、新規就農のきっかけづくりや担い手育成につなげるべき。

## ○新しい学習・遊びの場の創設:

- ・木育（もくいく）：八幡平市の例を参考に、木を使った遊びや学習ができる施設を望む声がある。
- ・複合的な遊び場：小学生用と未就学児用の空間を分けつつ、親が両方を見守れるような設計の遊び場が提案されている。

## ◎仕事について

### ○情報へのアクセス

- ・地元の就職・会社情報が不足しており、情報に触れる機会を増やす必要がある。
- ・単なる掲示だけでなく、体験や見学、進路に応じた説明会など、より実践的な情報提供が求められている。

### ○経済的負担

- ・賃金面での負担が課題として認識されている。

### ○企業誘致と新規事業

- ・IT関連企業をはじめとする企業のサテライトオフィスを誘致すべき。
- ・「ホリエモンのロケット事業のような夢のある目玉事業」を立ち上げるべき。
- ・軽米町から上場（IPO）企業を育成するという野心的な目標も掲げられている。

### ○働き方の多様化と支援

- ・リモートワークの環境整備を進めるべき。
- ・交通費や住宅手当など、各種手当の増額（UP）を求める声がある。
- ・「起業塾」のような起業家を育成する場を設けるべき。

### ○町の魅力向上と雇用創出

- ・再生可能エネルギーの町として宣伝し、クリーンなイメージを打ち出すべき。
- ・観光業を活性化させ、交流人口の増加に伴う職種の増加を図るべき。
- ・貸別荘を増やし、富裕層との交流を促進するべき。
- ・人材募集を町内だけでなく周辺市町村にも広げるべき。

### ○著名人を活用したビジネスモデル

- ・「甘党男子」の神久保翔也氏による田舎暮らし体験の情報発信や、軽米の産物を「ライブコマース」で販売するビジネスの立ち上げが提案されている。

## ◎交流・にぎわいについて

### ○交流の場の不足

- ・「人と交流したい」「新しい友達ができるプロジェクト」が欲しいという根本的な欲求がある。
- ・若者が集まる場所、同年代と知り合える場所、趣味を共有できる場所が求められて

いる。具体的には、若者向けの飲み屋、洋食屋、チェーン店、カフェ、ネイルサロン、美容室、おもちゃ屋、駄菓子屋などが挙げられている。

#### ○イベントへの要望

- ・若者向けのイベントや、特定のジャンルに特化したイベントを増やしてほしい。
- ・飲食店、音楽、撮影会などを組み合わせた「Fes (フェス)」の開催が提案されている。

#### ○情報不足

- ・交流に関する情報が少ない。
- ・「地域おこし協力隊」の活動内容がよく知られていない。

#### ○集客施設の誘致・設置

- ・活用されていないIC周辺に、周辺市町村からも広域的に集客できるショッピングモールを誘致すべき。
- ・宿泊機能も備えた「北三陸のような道の駅」を設置し、自家用車での観光客を増やすべき。

#### ○イベントの企画

- ・e スポーツ大会、世代間交流イベント、スタンプラリーなど、多様なイベントの開催をするべき。
- ・幼児と保護者が一緒に参加できるイベントがあればよい。

#### ○観光・周遊戦略

- ・「ハイキュー!!」読者のファン心理を掴んだ戦略が必要。
- ・宇漢米館、みるみるハウス、聖地などを周遊するデマンドタクシーの運行があればよい。
- ・宇漢米館での移動マルシェや移動販売の実施をするべき。
- ・商店街や聖地、交流館などへの土産物自動販売機の設置したほうがよい。

### ◎その他

#### ○支援制度への不公平感

- ・助成金が不公平であるという意見が複数見られる。
- ・特に、新規移住者だけが優遇されていると感じる住民がおり、「既に住んでいる人も大事にする姿勢が必要」との声が上がっている。

#### ○支援内容への要望

- ・一時的な給付金よりも、「子育て」「医療費」「交通費」といった、暮らしに直結する分野での継続的な支援が求められている。

#### ○生活コスト

- ・水道代などの公共料金が高いという不満がある。

#### ○コミュニティ

- ・コミュニティや行政区の区割りを明確にしてほしいという意見がある。